



皆さん こんにちは

9月20日 みんなのがん教室 が ありました。
胃がんの薬物治療の部分、講演させていただきました。

こうした 教室は 昔は珍しかったと思いますが、最近は様々な立場の病院が、様々な形でやるようになってあまり目新しさが感じられなくなってきた部分もあるのではないかと個人的には思っています。

手術や検査など、視覚から理解しやすいテーマと違いまして、どうしても私がしゃべることの多い、薬物療法というのは、皆様にわかりにくいといわれてしまうことが多くなってしまいます。

漢方薬以外の薬の名前は基本的にカタカナなので、元々カタカナ嫌いな私はもしかしたら皆様以上に薬剤名アレルギー？ があるのではないかと思います。

それでも、仕事ですから仕方なく覚えているところなので、皆様の気持ちもわかっているつもりであります。

今回の教室では、カタカナ言葉もやむなく使ったところもありますが、一番お伝えしたかったのは、がんの薬物治療というものは、確かに副作用などつらい側面もあることは確かではありますが、ある程度普段の仕事や趣味も含めた生活と両立して行うことができますよということです。

状況により、いくつかの制限がつく場合がありますが、周囲の理解や協力を得ながら、日常生活と並行して治療を続けていくことができる世の中になりつつあり、我々医療者もその助けになりたいと思っていることが伝わればそれでよかったですと思っています。

冒頭にもあげましたが、いろんなところで、色々ながん教室を開いており、それらとの差別化しなければと、企画する立場のものとして悩みはつきません。

また、今回の話のなかで、『がん相談支援センター』という皆様の様々な相談をうける窓口が当院にもあるということを知っていただけたとしたら、他の私の話が全て理解していただけなかったとしても、それで個人的には満足に思います。

では、また。